

NU-CARシンポジウム

～“ドライバのいる”コックピットを考える～

本シンポジウムは、自動車工学に関わる話題提供や研究を紹介することを目的に開催しています。社会問題に対応した自動車の進化によって、ドライバに求められるものは変化しつつあります。今年度は、「“ドライバのいる”コックピットを考える」をテーマに研究報告計4件、国際会議報告2件を発表します。多数のご参加をお待ちしております。

※本年度より、研究活動説明会を『NU-CARシンポジウム』と名称変更しました。

2024年8月22日(木) 13:30~16:45

日本大学生産工学部津田沼キャンパス 37号館803室

★参加無料 ★上記会場とオンライン(Zoom)のハイブリッド開催

【協賛(予定)】公益社団法人自動車技術会, 一般社団法人日本機械学会, 一般社団法人人間工学会

【後援(予定)】公益財団法人千葉県産業振興センター

【申込(8/21締切)】 <https://forms.office.com/r/pbbCdQEUMB>

【プログラム】

13:30~13:40 開会挨拶・NU-CAR紹介 石橋基範(センター長・マネジメント工学科教授)

13:40~14:05 遮音ガラスの1Dモデル化に関する研究
見坐地一人(数理情報工学科特任教授)

14:05~14:30 ヒヤリハットデータベースによる二輪車との出会い頭ニアミスの分析
丸茂喜高(機械工学科教授)

14:30~14:40 休憩

14:40~15:05 ドライバ計測の活用法について
栗谷川幸代(機械工学科教授)

15:05~15:30 システム/HMIの性能と利用意欲の関係についての一考察
石橋基範(マネジメント工学科教授)

15:30~15:40 休憩

15:40~16:15 HMI開発の国際的動向報告
美記陽之介(HMIpro Inc.代表)

16:15~16:40 6th ROAD(Round Table for the Purpose of Autonomous Driving) 国際会議報告
景山一郎(日本大学名誉教授)

16:40~16:45 閉会挨拶 野村浩司(副センター長・機械工学科教授)

【問い合わせ先】 日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

千葉県習志野市泉町1-2-1

長峯・山本 047-474-3188

cit.nu-car.info@nihon-u.ac.jp

